

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月11日

上場会社名 いちごグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2337 URL <http://www.ichigo-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 岩崎 謙治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役財務本部長 (氏名) 南川 孝 (TEL) 03-3502-4818
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	20,586	169.6	2,243	222.8	2,157	249.7	2,755	414.2
25年2月期第2四半期	7,637	△40.0	694	120.5	617	94.6	535	△58.5

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 2,551百万円 (319.3%) 25年2月期第2四半期 608百万円 (△15.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年2月期第2四半期	6	14	6	05
25年2月期第2四半期	1	20	—	—

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
26年2月期第2四半期	88,085	33,377	33,377	28,457	35.1	68	66	
25年2月期	80,428	31,066	31,066	28,457	35.4	63	52	

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 30,941百万円 25年2月期 28,457百万円

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
25年2月期	—	—	0	00	—	200	00	200	00
26年2月期	—	—	0	00	—	—	—	—	—
26年2月期 (予想)	—	—	—	—	—	1	10	1	10

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成25年2月期の期末配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。また、平成26年2月期 (予想) の期末配当金につきましては、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,000	83.0	3,400	84.4	3,100	78.8	3,600	119.9	8	00

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、平成25年9月30日時点における発行済株式数が当連結会計年度末まで変動しなかったものとみなして計算した期中平均株式数に基づいて算出しております。

3. 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社 （社名）合同会社南池袋地所匿名組合
除外 1 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	453,388,000株	25年2月期	451,986,800株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	2,773,400株	25年2月期	4,000,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	448,959,503株	25年2月期2Q	447,263,800株

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、平成25年10月16日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
第2四半期連結会計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
第2四半期連結会計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6) セグメント情報等	13
(7) 四半期連結損益計算書に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期決算短信提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

①業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新政権の経済政策による大胆な金融緩和と財政出動の効果によって、緩やかな回復が見られました。また、公共投資や住宅投資は引き続き増加傾向にあり、個人消費も消費者マインドの改善を伴いながら底堅く推移しております。

当社グループの属する不動産業界におきましては、景況感の回復と日銀による金融緩和の結果、資金調達環境は引き続き良好であることから、多くのJ-REITが公募増資を実施するなど、取引量が増加傾向にあります。

また、賃貸マーケットにおいても空室率の低下、フリーレント期間の短縮、都心3区の大規模ビルの賃料上昇等の改善傾向が見られ、業界を取り巻く環境は好転しております。

当社グループでは、こうした環境下において、J-REIT及び私募不動産ファンドの資産運用会社を始めとし、小規模不動産及び底地関連商品の提供、PM（プロパティマネジメント）、FM（ファシリティマネジメント）、不動産の新たな有効活用としての「ECO」エナジー事業（メガソーラー事業、LED設置、LED演出等）等広く不動産関連サービス機能を有する総合不動産運用グループとして、革命的な成長を目指すべく「Shift Up」戦略の推進を図り、健全な財務基盤と安定した収益基盤を土台とし、成長投資及び収益拡大の加速を図ってまいりました。

具体的には主として以下の事項を実施しております。

- ・ 成長投資の加速（いちごリートブリッジ案件、バリューアッド案件、長期安定収入案件等）
- ・ いちごリートの公募増資等の成長加速への全面的なサポートによる安定収益の拡大
- ・ メガソーラー事業の規模拡大、早期事業化推進
- ・ 運用資産の環境対応、耐震性、機能性の向上等バリューアップの推進
- ・ 徹底した現場主義の実現による高水準の物件管理サービス提供、リーシング強化
- ・ リファイナンスによる借入コスト削減を始めとした借入条件の改善
- ・ メガバンクとの取引拡大を含む戦略的バンクフォーメーションの推進
- ・ いちごブランディングの積極的な推進
- ・ 資産の売却、組み替えによる資金回収及び売却益の獲得
- ・ ファシリティマネジメント事業及びメガソーラー事業の強化及び効率化（連結子会社の合併）
- ・ 流動性向上と投資しやすい環境整備を目的とした株式分割

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高20,586百万円（前年同四半期比169.6%増）、営業利益2,243百万円（同222.8%増）、経常利益2,157百万円（同249.7%増）、四半期純利益2,755百万円（同414.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

i) 不動産等投資・運用事業

当社及び連結子会社におけるJ-REIT及び私募不動産ファンド運用事業、不動産投資事業、不動産ソリューション事業等により、不動産等投資・運用事業の売上高は、19,099百万円（前年同四半期比210.0%増）、セグメント利益は2,121百万円（前年同四半期比262.4%増）となりました。

ii) 不動産・施設管理事業

連結子会社における商業施設（卸売市場、ショッピングセンター）の運営・賃貸、ビルメンテナンス業務・施設管理業務等により、不動産・施設管理事業の売上高は、1,543百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は121百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

②経営成績の分析

(売上高)

当第2四半期連結累計期間における連結売上高は20,586百万円（前年同四半期比169.6%増）となりました。

これは主に、不動産販売収入14,822百万円、不動産賃貸収入2,818百万円、不動産フィー収入1,076百万円、施設管理受託収入1,053百万円及び営業投資有価証券売却収入646百万円があったことによるものであります。

(営業利益)

当第2四半期連結累計期間における営業利益は2,243百万円(前年同四半期比222.8%増)となりました。

これは主に、不動産の販売及び賃貸に係る売上原価15,174百万円、施設管理受託に係る売上原価828百万円、営業投資有価証券の売却に係る売上原価497百万円、販売費及び一般管理費1,697百万円があったことによるものであります。

(営業外損益)

当第2四半期連結累計期間における営業外収益は69百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

これは主に、負ののれん償却額45百万円及び受取配当金11百万円があったことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における営業外費用は154百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

これは主に、支払利息136百万円があったことによるものであります。

(特別損益)

当第2四半期連結累計期間における特別利益は673百万円(前年同四半期1百万円)、特別損失は0百万円(前年同四半期比99.0%減)となりました。

これは主に、売買利益受領益434百万円及び投資有価証券売却益204百万円があったことによるものであります。

(四半期純利益)

法人税等は46百万円、少数株主利益は29百万円となりました。

これらの結果、四半期純利益は2,755百万円(前年同四半期比414.2%増)となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、11,107百万円となり、前連結会計年度末の9,512百万円と比して1,595百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローとそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は6,374百万円(前年同四半期比289.7%増)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2,831百万円、売却等による販売用不動産の減少額2,093百万円及び売却による営業投資有価証券の減少額693百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は2,735百万円(前年同四半期は12百万円の支出)となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,389百万円、有形固定資産の取得による支出1,316百万円、無形固定資産の取得による支出315百万円及び投資有価証券の売却による収入282百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は1,041百万円(前年同四半期比16.1%減)となりました。

これは主に、ノンリコースローンの返済による支出13,491百万円、長期借入金の返済による支出3,729百万円、配当金の支払額444百万円、長期借入れによる収入10,850百万円、ノンリコースローンの借入れによる収入4,380百万円及び短期借入金の純増額1,234百万円があったことによるものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は88,085百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,656百万円増加(前連結会計年度末比9.5%増)いたしました。

これは主に、有形固定資産の増加5,624百万円、現金及び預金の増加1,803百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は54,707百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,346百万円増加(前連結会計年度末比10.8%増)いたしました。

これは主に、借入金等の増加4,199百万円及び繰延税金負債の増加1,117百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は33,377百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,310百万円増加(前連結会計年度末比7.4%増)いたしました。

これは主に、四半期純利益の計上2,755百万円及び剰余金の配当447百万円があったことによるものであります。なお、自己資本比率は35.1%(前連結会計年度末比0.3ポイント減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月7日付「2014年2月期通期業績予想修正に関するお知らせ」において公表しております平成26年2月期の連結業績予想から変更はありません。

なお、平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、平成25年9月30日時点における発行済株式数が当連結会計年度末まで変動しなかったものとみなして計算した期中平均株式数に基づいて算出しております。

また、当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。平成26年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

合同会社南池袋地所匿名組合及び合同会社銀座ホールディングス匿名組合につきましては、第1四半期連結会計期間に新たに持分を取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、合同会社銀座ホールディングス匿名組合につきましては、当第2四半期連結会計期間において、特定子会社に該当しないこととなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,713	11,517
受取手形及び売掛金	548	482
営業貸付金	3,636	1,100
営業投資有価証券	4,271	3,919
販売用不動産	46,176	46,266
繰延税金資産	369	369
その他	2,042	2,257
貸倒引当金	△3,177	△963
流動資産合計	63,581	64,948
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,082	10,996
その他(純額)	2,965	4,675
有形固定資産合計	10,047	15,671
無形固定資産		
のれん	2,203	2,290
借地権	—	376
その他	20	19
無形固定資産合計	2,223	2,687
投資その他の資産		
投資有価証券	4,117	4,108
長期貸付金	13	13
その他	545	756
貸倒引当金	△101	△101
投資その他の資産合計	4,575	4,777
固定資産合計	16,846	23,137
資産合計	80,428	88,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64	85
短期借入金	484	1,719
1年内返済予定の長期借入金	966	2,707
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	2,263	1,109
未払法人税等	65	56
繰延税金負債	15	26
賞与引当金	25	43
その他	3,419	2,987
流動負債合計	7,304	8,735
固定負債		
長期借入金	5,456	12,274
長期ノンリコースローン	32,776	28,335
繰延税金負債	277	1,384
長期預り保証金	3,230	3,707
負ののれん	270	225
その他	46	44
固定負債合計	42,056	45,972
負債合計	49,361	54,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,113	18,181
資本剰余金	2,429	2,527
利益剰余金	7,923	10,172
自己株式	△187	△130
株主資本合計	28,279	30,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	203
為替換算調整勘定	16	△14
その他の包括利益累計額合計	177	189
新株予約権	143	121
少数株主持分	2,466	2,315
純資産合計	31,066	33,377
負債純資産合計	80,428	88,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	7,637	20,586
売上原価	5,419	16,645
売上総利益	2,217	3,940
販売費及び一般管理費	1,522	1,697
営業利益	694	2,243
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	13	11
負ののれん償却額	45	45
その他	21	10
営業外収益合計	81	69
営業外費用		
支払利息	143	136
その他	15	17
営業外費用合計	159	154
経常利益	617	2,157
特別利益		
投資有価証券売却益	0	204
売買利益受領益	—	434
その他	0	33
特別利益合計	1	673
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
事務所移転費用	13	—
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純利益	603	2,831
法人税、住民税及び事業税	29	46
法人税等調整額	—	△0
法人税等	29	46
少数株主損益調整前四半期純利益	573	2,784
少数株主利益	37	29
四半期純利益	535	2,755

(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	5,274	9,562
売上原価	4,158	7,260
売上総利益	1,115	2,302
販売費及び一般管理費	756	827
営業利益	359	1,475
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	4	2
負ののれん償却額	22	22
その他	11	6
営業外収益合計	38	32
営業外費用		
支払利息	73	78
その他	15	14
営業外費用合計	88	92
経常利益	309	1,415
特別利益		
投資有価証券売却益	0	5
その他	0	0
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
事務所移転費用	13	—
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純利益	295	1,421
法人税、住民税及び事業税	12	31
法人税等調整額	—	△0
法人税等	12	31
少数株主損益調整前四半期純利益	282	1,389
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11	△5
四半期純利益	270	1,395

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	573	2,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	△107
為替換算調整勘定	△103	△125
その他の包括利益合計	34	△233
四半期包括利益	608	2,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393	2,727
少数株主に係る四半期包括利益	214	△176

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	282	1,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	△207
為替換算調整勘定	△143	△100
その他の包括利益合計	72	△307
四半期包括利益	354	1,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162	1,154
少数株主に係る四半期包括利益	191	△72

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	603	2,831
減価償却費	112	124
株式報酬費用	15	39
のれん償却額	55	69
負ののれん償却額	△45	△45
賞与引当金の増減額(△は減少)	45	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	165	34
受取利息及び受取配当金	△14	△13
支払利息	143	136
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△204
固定資産除売却損益(△は益)	0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	428	66
営業貸付金の増減額(△は増加)	—	200
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	57	693
営業投資有価証券評価損	25	14
販売用不動産の増減額(△は増加)	334	2,093
販売用不動産評価損	119	—
未収入金の増減額(△は増加)	△103	91
未払金の増減額(△は減少)	59	△83
未払費用の増減額(△は減少)	169	△122
預り保証金の増減額(△は減少)	△83	△22
その他	△243	631
小計	1,847	6,552
利息及び配当金の受取額	14	13
利息の支払額	△137	△134
法人税等の支払額	△88	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,635	6,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	0	282
投資有価証券の償還による収入	30	2
有形固定資産の取得による支出	△51	△1,316
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△0	△315
出資金の払込による支出	△1	△3
出資金の回収による収入	—	5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,389
貸付金の回収による収入	0	0
その他	9	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△2,735

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	370	1,234
長期借入れによる収入	2,150	10,850
長期借入金の返済による支出	△2,913	△3,729
ノンリコースローンの借入による収入	—	4,380
ノンリコースローンの返済による支出	△847	△13,491
ストックオプションの行使による収入	—	161
配当金の支払額	—	△444
少数株主からの払込みによる収入	20	—
少数株主への払戻による支出	△19	—
少数株主への配当金の支払額	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,240	△1,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	401	2,634
現金及び現金同等物の期首残高	9,438	9,512
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△117	△1,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,723	11,107

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産等投 資・運用事業	不動産・施 設管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,145	1,492	7,637	—	7,637
セグメント間の内部売 上高又は振替高	16	32	49	△49	—
計	6,161	1,524	7,686	△49	7,637
セグメント利益	585	109	695	△0	694

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産等投 資・運用事業	不動産・施 設管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,060	1,525	20,586	—	20,586
セグメント間の内部売 上高又は振替高	38	18	57	△57	—
計	19,099	1,543	20,643	△57	20,586
セグメント利益	2,121	121	2,242	0	2,243

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 前第2四半期連結会計期間（自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産等投 資・運用事業	不動産・施 設管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,511	763	5,274	—	5,274
セグメント間の内部売 上高又は振替高	9	16	25	△25	—
計	4,520	779	5,300	△25	5,274
セグメント利益	311	47	359	△0	359

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅳ 当第2四半期連結会計期間（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産等投 資・運用事業	不動産・施 設管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,780	781	9,562	—	9,562
セグメント間の内部売 上高又は振替高	28	0	28	△28	—
計	8,809	782	9,591	△28	9,562
セグメント利益	1,429	44	1,474	0	1,475

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(7) 四半期連結損益計算書に関する注記

(売買利益受領益)

当社株式を長期保有している主要株主が、平成24年11月8日付当社プレスリリースに記載した仕組み替えに伴う保有全株式の子会社への移管後に、当社株式の一部を売却したところ、形式的に金融商品取引法第164条第1項に定める取引に該当したため、当該売却に係る利益の提供を受けたものであります。